

## 施策指針 2 健康で思いやりあふれるまちづくり

今後、少子高齢化がさらに進むと社会保障や経済活動の問題にとどまらず、国や社会の存立基盤に関わってくると言われています。こうした中、子育て環境を整備し、市民一人ひとりが健康で生きがい満ちた長寿社会を実現することが重要です。また、障害の有無や年齢にかかわらず、その人らしい自立した生き方ができる地域づくりや介護体制を充実させる必要があります。そのためには、個人や家庭、地域、ボランティア、NPO（民間非営利組織）、企業等がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力していく必要があります。

また、消費者犯罪から市民を守る取組み、青少年の健全育成に向けた取組みについても、変化の大きい現代社会にあって誰もが穏やかな日常生活を営む上で、その重要性がますます高まっています。

さらに、地方分権の流れの中で、自らの地域は自らの活動によって支え、まちづくりに取り組むという姿勢が求められており、自治活動・コミュニティ活動やボランティアなど行政でも企業でもない取組みの主体を育てていくことの重要性が増しています。その中には性差を問わずに社会参加ができる男女共同参画社会の実現も欠かすことができません。

このような中で、市民の誰もが、生涯を通じて元気で、働き、学び、楽しみ、社会に貢献することができる地域社会が形成できるよう、下記の施策を通じて「健康で思いやりのあふれるまちづくり」を推進します。

### ○ 施策指針 2 に基づく主要施策

- 1 医療体制・健康づくり環境の充実
- 2 地域福祉の充実
- 3 少子化対策・児童福祉・母子（父子）福祉の充実
- 4 障害者（児）福祉の充実
- 5 高齢者福祉の充実
- 6 社会保障の充実
- 7 青少年の健全育成
- 8 消費者利益の擁護・増進
- 9 自治・コミュニティ活動の振興
- 10 ボランティア・NPO活動の振興
- 11 男女共同参画社会の推進



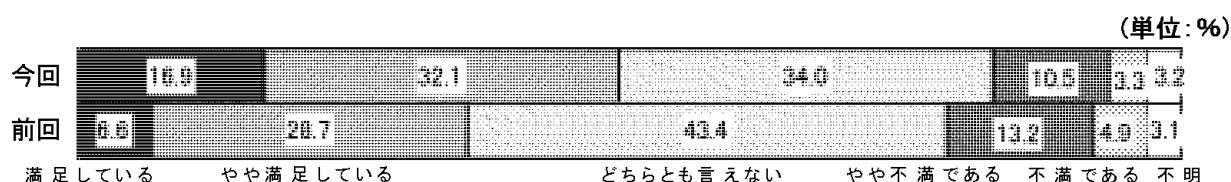
# 1 医療体制・健康づくり環境の充実

市民が安心して暮らすことができるよう地域医療体制の充実に努めます。

また、各種健(検)診の充実を図り、すべての市民が、ライフステージに応じた自主的な健康づくりを推進し、健康で生きがいに満ちた長寿社会の実現を目指します。

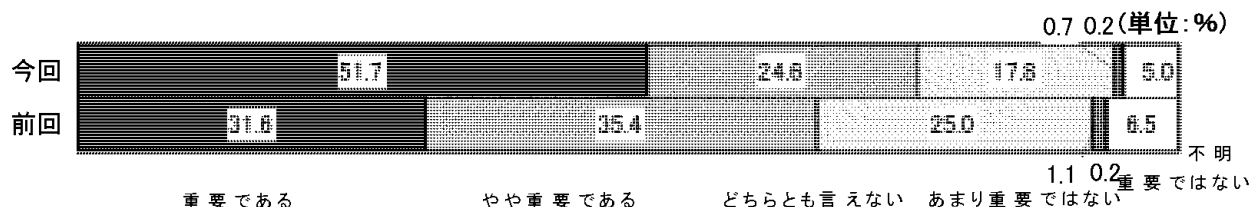
## (1) 満足度・重要度調査結果

### ① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 5 / 36位)

### ② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 8 / 36位)

## (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
予防接種について	学校で集団接種をしてほしい。 子宮頸がんワクチンの無料化、肺炎球菌ワクチンやヒブワクチン接種の実施、任意予防接種に対する助成等を要望。
総合病院の新設・診療科の充実等	大きな総合病院が無いため市民病院が必要。 市内には乳幼児の夜間病院が無い。 産科・耳鼻科・眼科が少ない。
検診項目の充実	以前より健診項目が減った。 エイズ検査、子宮体がん検診、乳がん検診の超音波検診などの実施。 血液検査の項目数を増やす。
検診場所の増設	合併してから健診の場所が遠くなり不便。 各地区で検診が受けられるようにしてほしい。
検診の頻度・休日	検診の日程が限られているのでなかなか受けられない。

実施	仕事で平日は利用できない。
検診案内、申し込みの充実	広報での案内の充実に加え、対象者への通知など案内をわかりやすく。 わざわざ出向かないと予約できなのは不便で、電話で受け付けしてほしい。
検診日の統一	がん検診、基本検診の日時が別々になった為不便。 検診が一か所で一度にできるようにしてほしい。

### (3) 所見

満足度は 36 項目中 3 番目に高く、現行施策が多くの市民に評価されている。

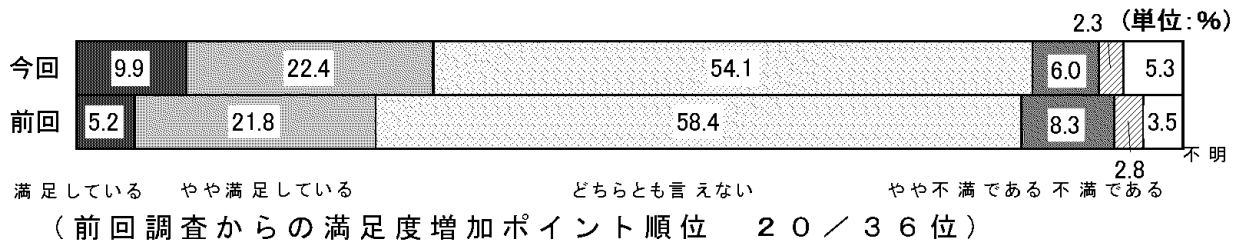
満足度・重要度ともに高い上昇率を示したものの、「検診場所・頻度・項目を増やしてほしい」「検診日の統一」等、検診内容の充実や利便性の向上を求める意見が多数を占めたことから、現行施策へ一定の評価をしつつも、更なる施策内容の充実を求める意見が寄せられている。

## 2 地域福祉の充実

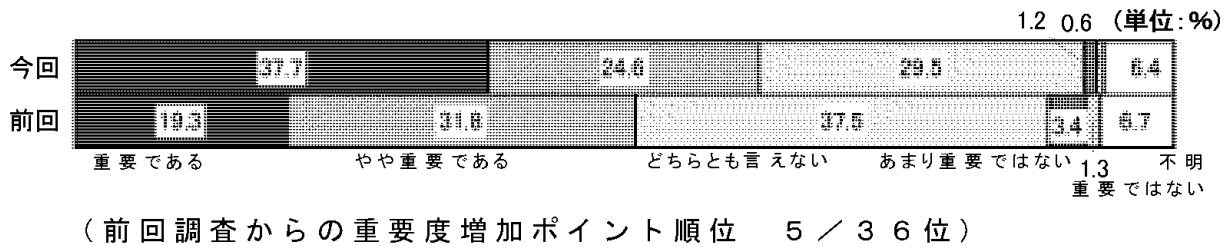
福祉サービスを必要とする人を地域で支えあうため、社会福祉協議会による活動や、ボランティア、NPO など市民の参画と創造による地域福祉活動が活発に展開できる仕組みづくりを目指します。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
福祉センターの運営内容の明確化、再検討	福祉センターの運営内容を知らない、何をしているのかわからない。 福祉のニーズに合っているか疑問。 マンネリ化しており運営方法の見直しが必要。
福祉センターの利便性の改善	地域により不便を感じる。 休日の利用や閉館時間の延長。 センターまでのバス路線の改善、施設トイレの改善など利用しやすくする。
施設の存在は重要	高齢化社会なので、今後もっと重要になる。 高齢者の憩いの場所として重要。 子どもがよく利用するので助かっている。
センター事業の充実	いろいろなイベントを増やし利用者を広げる。 要支援者や軽度の認知症の方が気楽に集える施設に。 福祉関係の行事が減っており復活を。

利用者の偏り	<p>一部の人の利用に偏り過ぎていないか。</p> <p>施設を市民にPRする必要がある。</p> <p>高齢者、知的障がい者以外の重度の障がい者への対応を。</p>
--------	---

### (3) 所見

満足度に比べ重要度は大幅に上昇している。これは、高齢化社会の進展により高齢者福祉や子育て支援等の施策が今後重要になると考える人が多いためと思われる。

しかし、施設の利用者が世代や家族構成により限定されているため、施設や事業の内容を知らないという意見が多数あった。

施策の意義・内容の市民への情報提供について充実を求める意見が寄せられている。

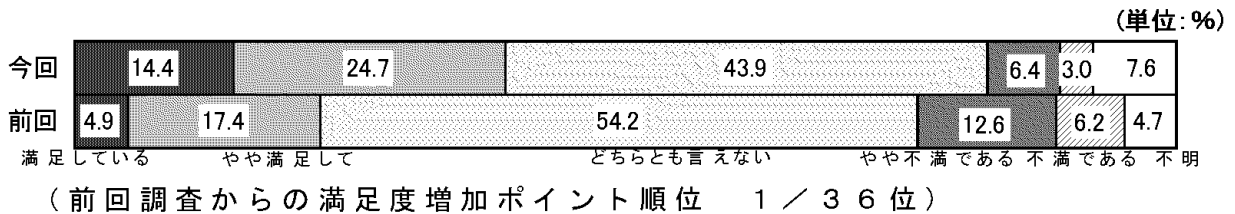
### 3 少子化対策・児童福祉・母子（父子）福祉の充実

子どもが健やかに育ち、子育てに夢がもてるよう、ニーズに応じた保育サービスの充実や出産・子育てに関する相談支援体制の充実に努め、子育てに対する経済的負担の軽減を目指します。

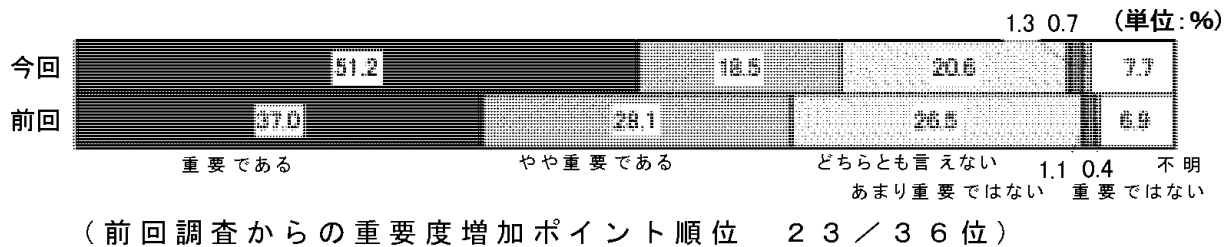
また、母子(父子)家庭の日常生活や母子家庭の母の就労を支援し、総合的に自立できるよう目指します。

#### (1) 満足度・重要度調査結果

##### ① 満足度



##### ② 重要度



#### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
保育園・幼稚園の充実	保育園が少ない。 保育園の統合が進むと遠くなるため反対。 3歳未満児の定員確保。
子育て支援	将来の為、市の人口を増やすためにも子育て支援は重要である。 清須で子どもを産んで育てたいと思われるような独自の施策を。
託児所・児童館・トワイライトの充実	児童館の数が少ない、遠い、施設が狭い。 放課後児童クラブの条件が厳しすぎる。 学童保育の場所が少ない、預かる時間が短すぎる。
充実した支援策	中学卒業まで医療費助成は助かる。 子育て支援は素晴らしく、子育てしやすい街だと思う。
子育てに関する	医療費の全額負担は必要ない。

制度の見直し	安易に病院にかかるため、本当に重病の人が困る。 子ども手当が完全に教育に使われる制度が必要。 子どもに視点を合わせた政策が必要。
子ども医療の充実	医療費助成期間の延長、予防接種の補助があると有難い。 妊婦も安心して医療が受けられるような制度・機関の充実を。

### (3) 所見

満足度の前回調査との比較では、36項目中ポイントが最も上昇した。中学生までの医療費助成対象の拡大が満足度を高めた要因となっていると考えられる。

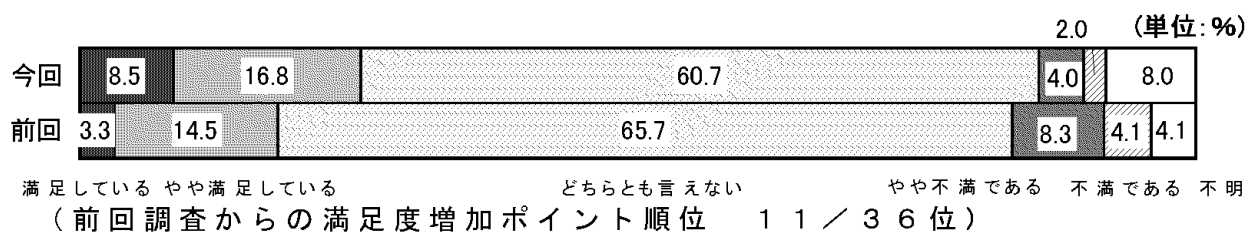
一方、「保育園の3歳未満児の定員確保」「保育園の統合による減少」等、現行施策の水準の低下を不安視する意見や、現行の施策水準の維持が求める意見が寄せられている。

## 4 障害者（児）福祉の充実

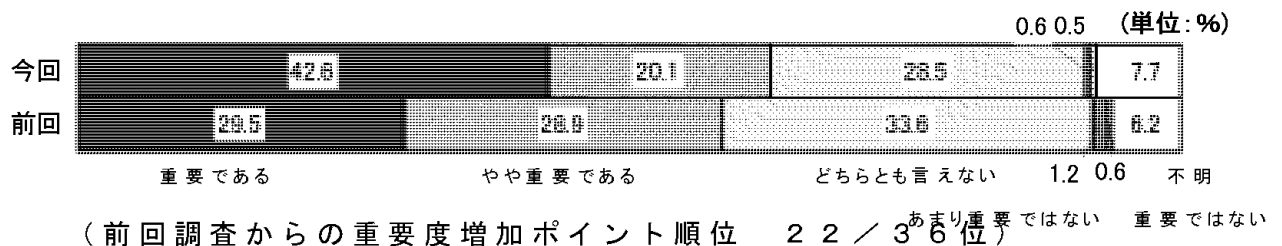
障害の早期発見に努め、障害の予防、軽減を図るとともに、障害者（児）がもてる能力を最大限に発揮して自立し、社会の一員として生き生きと活動できるように、地域福祉活動の推進、就業の促進、福祉施策の充実等を図ります。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由



回答理由項目	内容
障がい者への支援	<p>地元企業への就業支援など、社会で自立できる支援を。</p> <p>将来、親がいなくなっても障がいを持つ子どもが生きていけるように。</p> <p>もっと交流の場を増やしてほしい。一人一人の要望に合った支援策を。</p>
障がい者支援の内容・情報の開示	<p>障がい者への支援内容がよく分からない。</p> <p>どう相談すればいいかわかりづらい。</p> <p>内容を地域の人に知ってもらった方が、もっと理解してもらえる。</p>
障がい者が生活しやすい環境づくり	<p>歩道の段差がひどくて、電動車イスの利用者が苦勞されている。</p> <p>障がい者がもっと地域社会の中に溶け込めるようにする。</p>
障がい者への理解	<p>子どもの頃から障がい者への理解を身につけることが必要。</p> <p>発達障がい者への理解活動を促進して欲しい。</p>

### (3) 所見

施策の推進に関する否定的な意見は殆どみられず、施策の推進にあたって更なる充実を求める意見が多数を占めた。

障がい者への直接的な支援施策に関する意見については自立支援に関する意見が最も多く、就業支援や家族以外でも障がい者を日常的にサポートできる体制づくり等が求められている。

また、直接的な支援以外に、障がい者への理解を求める意見が多く、障がい者への理解不足による偏見や差別の解消が課題として明らかになっている。

施策の推進にあたっては、障がい者への直接的な支援に加え、障がい者支援への理解と協力が得られるような啓発の推進も求める意見が寄せられている。

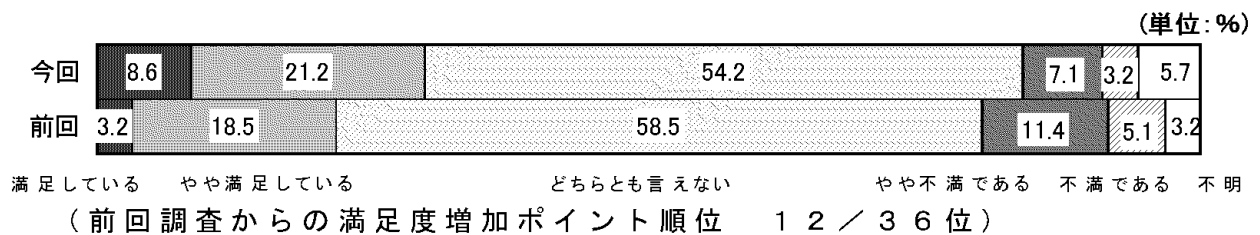
## 5 高齢者福祉の充実

高齢者が、健康保持とあいまって介護予防等の取組みを総合的に行うことにより、住み慣れた地域において、生き生きとした生活が送れることを目指します。一方、介護を必要とする高齢者には、安心して日常生活が営めるよう、良質で安心できる介護サービスを提供します。

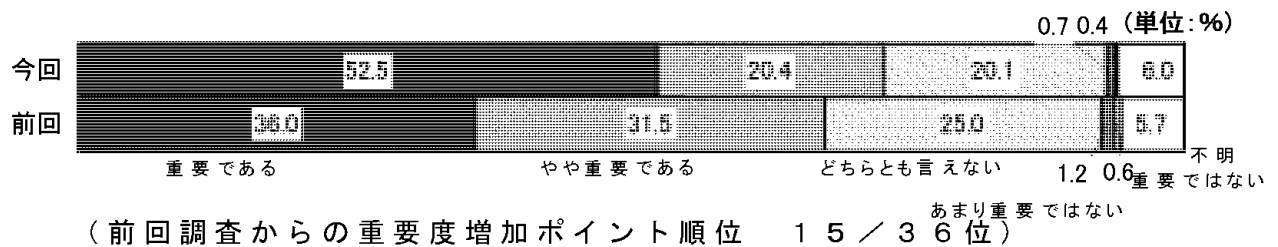
また、元気な高齢者が、趣味、スポーツ、学習、ボランティア等様々な活動に参加し、生き生きと活躍できる、高齢者の知恵と経験が地域に反映できる仕組みづくりに努めます。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
高齢者福祉施策の充実	高齢者への支援及び介護サービスの支援が不十分。 自宅内の手すりや歩行補助器具に補助を。
福祉施設、サービスの充実	高齢者の行事はほとんど福祉センターに集中しており分散してほしい。 低料金で手軽に利用できる施設を増やしてほしい
高齢者にやさしいまちづくり	隣近所の助け合いをベースに、困っている人達の情報を。 独居高齢者への日常生活の見守りシステム作りを。 交通の便が悪い、バスの巡回頻度をあげる。
高齢者福祉に対	介護保険料を払ってもサービスが受けられるか不安。

する疑問・懸念	介護認定基準が曖昧。
福祉施設、サービスに関する情報の開示	仕組みがよく分からない。 情報を知らない人が多い、もっと啓蒙活動を重視して欲しい。 現状がわからないのでいつも不安。
高齢者入居施設の新増設	特養、老健共に不足している。 介護を必要としていながらなかなか入所出来ない。 認知症を受け入れる施設が少ない。
高齢者の就労、生きがいがづくり	高齢者が働く場所がない。 シルバーに入会しても仕事が無い、活動の場をもっと拡大して欲しい。

### (3) 所見

「重要である」との回答が半数以上を占め、福祉に関する施策項目では最も高い数値を示した。高齢化社会の進展を踏まえ、今後ますます重要度の認識は高まっていくと考えられる。

高齢者支援策には一定の評価をしつつも、「入居施設の不足」「独居高齢者への支援体制構築」「複雑な支援制度の認知度の低さ」等の課題があり、満足度が平均的な水準に留まっている要因となっていると考えられる。

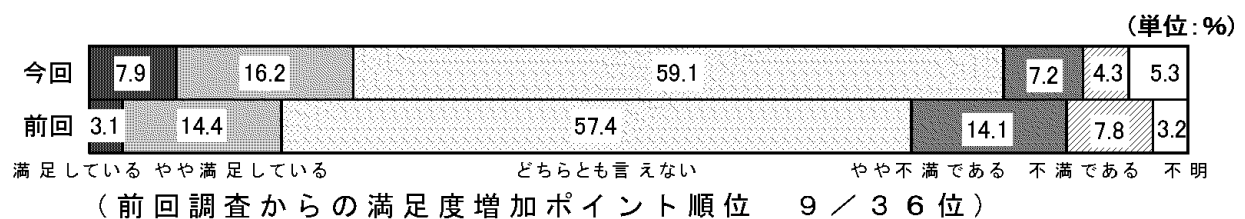
## 6 社会保障の充実

生活の維持が困難になった人に対して、相談体制の充実など自立を支援するための取組みを進めます。

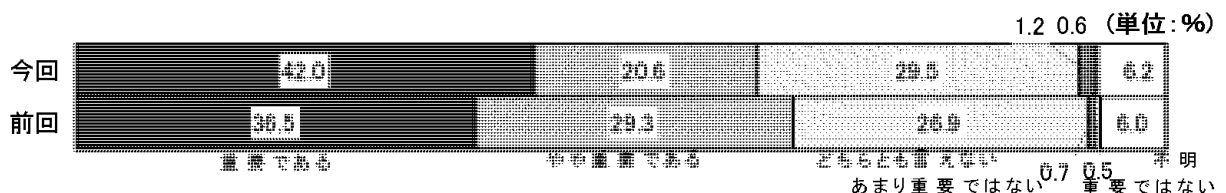
また、疾病、老後などに不安をもたないように、国民健康保険制度、介護保険制度などに対する一層の啓発と制度の適正な運用を図ります。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 36 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
生活保護の見直し	本当に生活保護が必要か、基準に基づいて十分な審査を。 お金が目的に合った使われ方をしているかチェック。
高い保険料	国民健康保険税、介護保険料が高い。 年金で生活を送る者は、保険料、税金等で生活が苦しくなっている。
制度・事業の充実	若い人が医者にかかり易い仕組みを。 勤めながら介護できる制度（4時間ぐらい頼める）が欲しい。 清須市独自の制度を構築して、福祉財源の確保を図る。
国民健康保険・介護事業の情報の提供、開示	生活保護などの条件や国民健康保険・介護保険制度をもっとわかりやすく。 事業支援内容を知らない。もっと身近で情報が見られるとよい。
制度の再検討	過剰診療を控えるような方向に。 弱者の自立支援が必要。地域単位で役を決めて隣近所で支援する方法もある。
将来への不安・対応	現在のシステムで生活が維持できるか心配。 子ども達になるべく世話にならないように心掛ける。

(3) 所見

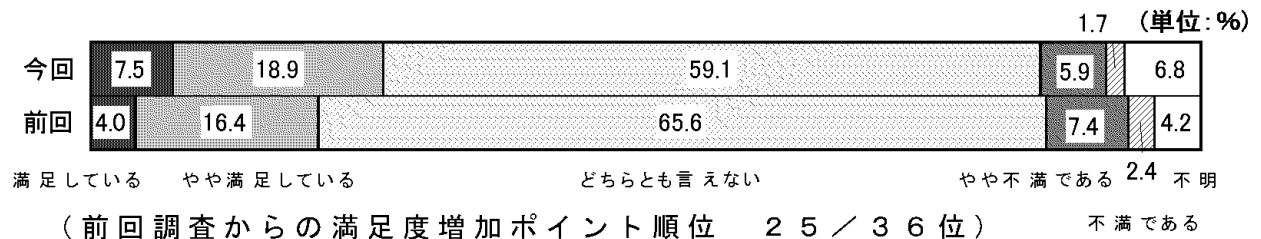
満足度は大きく上昇したが、重要度の上昇は36項目中最も低くなっている。社会保障制度の重要性については認識されているものの、近年の国・地方自治体の歳出に占める社会保障費の急増が広く認識されてきたことに加え、今回の調査結果にみられるように、社会保障制度の基準や審査等への情報不足が重要度の上昇を抑えた要因と思われる。

## 7 青少年の健全育成

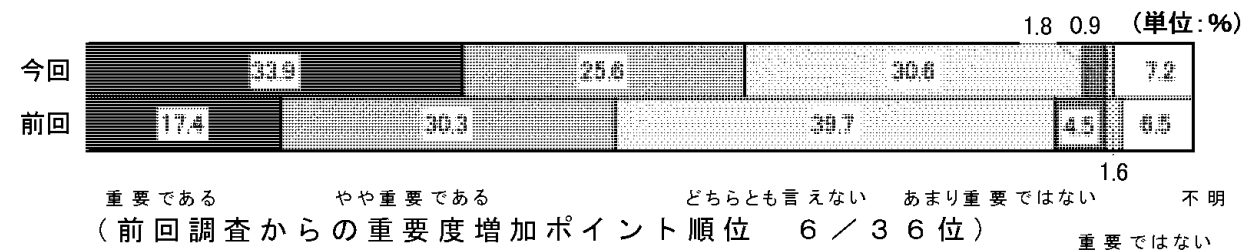
青少年の非行を抑止するために、家庭・地域・学校の連携のもとで啓発・補導活動を強化し、相談体制の整備を図ります。あわせてサークル活動やボランティアなど青少年の活動を支援し、主体的に社会とかかわる青少年の育成を目指します。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
子ども会活動について(支援の充実等)	子ども会活動は地域のつながりを強める為に大変重要だ。 子ども会活動が多い事で、友人知人が増え犯罪にあうことを減らせる。
子ども会活動の問題・疑問	子ども会・PTAなどシングルマザーは出なくていいようにしてほしい。 子ども会活動の負担が大きい。子ども会活動がいまひとつ。
成人式の開催について	成人式意味合いが変わってイベントとなっている。 成人式が清須市全体で行われるようになり、内容が薄くなった。
イベント・交流事業、地域活動	もっと地域の子ども達等と触れ合う機会が必要。 子ども達が参加できる市全体の事業が必要。 子育ては一人では出来ないの、地域で見守る姿勢が大切。
活動内容の明確	数名のみを対象とした研修会等は疑問。

化、見直し	具体的に何をしているのか分からない。 非行抑止につながっているのか、形式だけの活動は意味が無い。
非行抑止、犯罪から守る対策	公園等に監視カメラの設置が必要。 啓蒙活動だけでは抑止力にならない。
夜間パトロール、取り締まりの強化	非行抑止の為、警察の巡回の頻度を多く。 暴走族、ミニバイクによる、ひったくり等取り締まりを強化。

### (3) 所見

重要度に比べ、満足度の上昇幅が小さく、現行施策の改善が求められる傾向を示した。

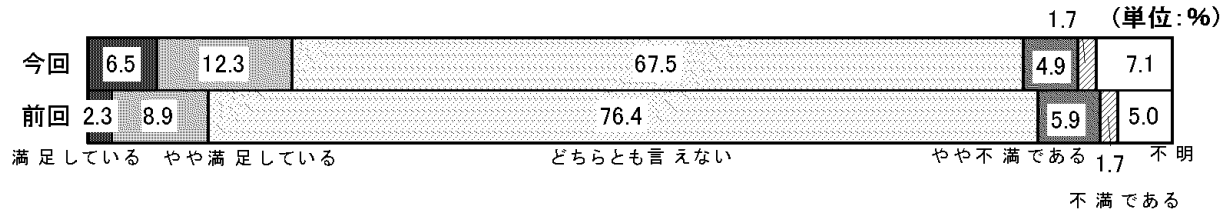
「非行防止」「子どもとのふれあい」等、青少年の健全育成の取組の重要性は感じているものの、子ども会活動、成人式などの現状の事業の効果を疑問視する意見が多くみられるなど、事業の成果が十分見えないことが、満足度の伸びの鈍化の要因となっていると思われる。

## 8 消費者利益の擁護・増進

高度化・悪質化する消費者トラブルから消費者の利益を守るため、相談事業の充実と啓発活動の強化を図ります。

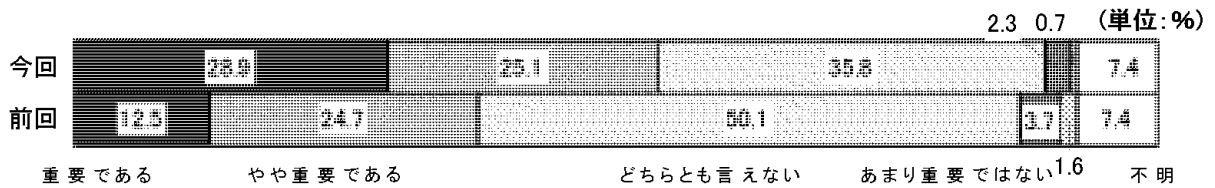
### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 23 / 36位)

#### ② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 4 / 36位)

### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
相談窓口の充実	存在を知らなかった。もっとPRした方が良い。 被害に遭った時の対処方法をもう少し明確に。 相談窓口が増えたことは評価。真剣に相談にのってもらった。
啓発活動の強化	未然に防ぐ為、事前の情報提供や注意喚起が大切。 説明会などにより知識を深め、準備しておく必要がある。 特に高齢者には啓発活動が必要。
消費者側の問題	行政は情報発信程度で良い。 自分で自分の身を守るのが基本。 消費者一人一人が賢くなる方が大切。
相談窓口に対する否定的見解	相談者の個人情報漏れる不安がある。 相談してもあまり役に立つとは思えない。 市の単位でやらなくても全国的な相談窓口があるのではないかと。

### (3) 所見

重要度に比べ、満足度の上昇幅が小さく、現行施策の改善が求められる傾向を示した。この傾向は、マスコミ等を通じて振り込め詐欺事件等が伝えられ、多くの市民に認識されていること、また様々な手法により同種の事件が発生し、一向に減らないことが要因になっていると思われる。

しかし実際に被害にあったことがない人は、相談窓口の存在すら知らない人も少なくないと思われる。引き続き、国や県と連携した相談事業の充実と啓発活動の強化を求める意見も寄せられている。

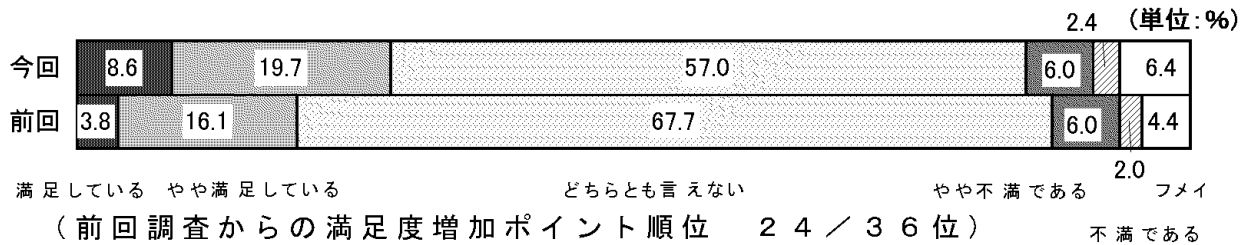


## 9 自治・コミュニティ活動の振興

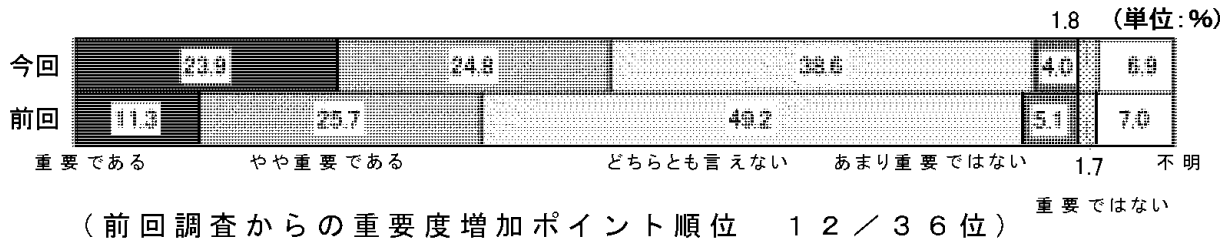
地域の問題を地域自らが解決する体制をつくるために、自治会などの地縁組織を中心としたコミュニティのあり方について、市民とともに検討するなど、地域社会の自主的な活動を喚起します。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
地域コミュニティ（活動）の問題	昔のしがらみで運営しており、もっと若い人間が参加できるように。 地元の人中心のコミュニティには意識の違いがある。 コミュニティ活動が負担となっている。 行政主導から地域主導には賛成できない。
地域コミュニティ（活動）の充実	コミュニティ活動は、防犯、防災、近所づきあいに役立つ。 コミュニティ活動が充実していない。転居者も参加しやすい活動を。 自治会のブロック化について説明や理解が十分でないと混乱する。
地域コミュニティ（活動）の情報提供	どんな活動をしているのかわからない。 自治体年会費、寄付金等が何の為に使われるのか明確にしてほしい。 コミュニティと自治会の役割分担を明確に。

自治会等の内容を理解していない人が多く、市民にわかりやすいように運営を。
--------------------------------------

### (3) 所見

満足度の前回調査との比較ではポイントが上昇し、前回は満足度の平均値を下回っていたが、今回は満足度の平均値を上回った。

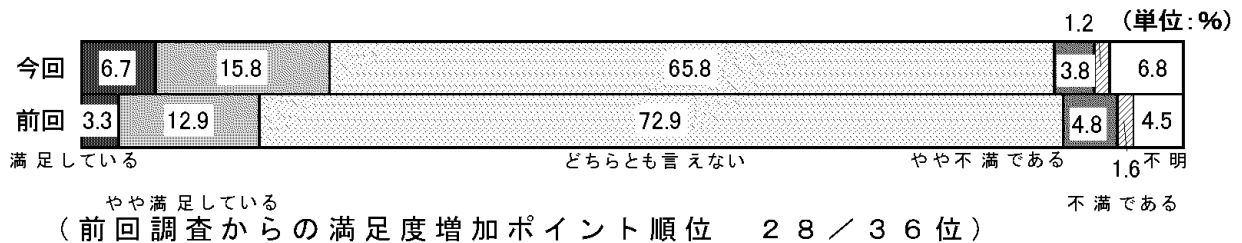
防犯、防災、近所づきあいの面でコミュニティの重要性が認識されているが、その反面、「転居者も参加しやすい活動を」「若い人が参加しにくい」といった意見にみられるように、新たに参加することとなった市民を中心に参加への抵抗感が見られる。こうした点が要因となって重要度の上昇と比較して満足度の水準が低くなっているものと思われる。

## 10 ボランティア・NPO活動の振興

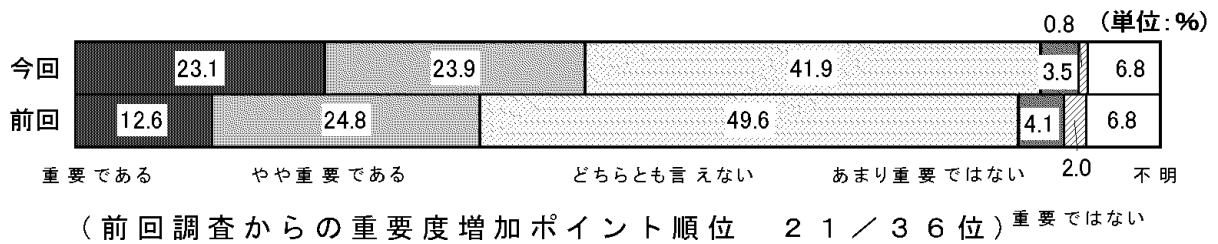
地域活動の担い手の多様化に対応して、ボランティアやNPOの活動を支援し、市民・行政との連携強化を図ります。

### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



#### ② 重要度



### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
ボランティア・NPOの活動支援	行政が出来ないことを助けてもらえるようにする為、重要と考える。 大きな災害が起きた時のボランティアの育成を。 NPO活動支援に力を入れる。
ボランティア・NPOの活動等に関する情報提供	ボランティア活動は何があるのか知らない。 NPO活動も知らない。活動しているのを見たことがない。 興味があっても、きっかけが少ないので身近に感じられるようにPRをする。
ボランティア・NPO活動についての要望	NPOを活用することで、経費削減効果を期待する。 ボランティア、NPO活動のために土日に使用出来る施設を増やしてほしい。もっと多くの人がいろいろなボランティア活動に協力してほしい。
ボランティア・NPOの活動支援の問題	NPO・ボランティアに支援が多すぎる。 行政の支援を求めるNPOなどは必要ない。 NPO・ボランティアが行政と市民とをつないでいると思えな

	い。
市民と行政との連携強化	市民と行政がもっと話し合う場所を設けてほしい。 市民と行政との連携を強化しコミュニティまちづくりを早く実践してほしい。行政で行うべきこともボランティア任せになりかねない。

### (3) 所見

満足度・重要度ともに、前回調査との比較では、ポイントは上昇している。

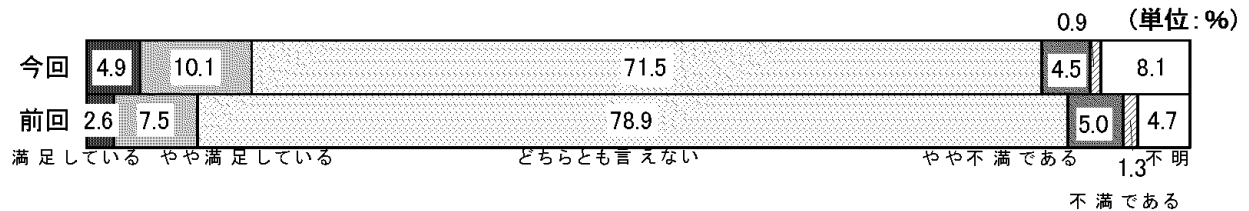
ボランティア・NPO活動については、市民と行政との協働の意識が定着してきたことが、満足度上昇の要因と思われる。一方、「行政の支援を求めるNPOは必要ない」「NPO・ボランティアへの支援が多すぎる」といった意見に加え、「ボランティア活動は何があるのか知らない」という意見にみられるような実際の活動内容の認知不足が要因になって、「どちらとも言えない」との回答が他の項目に比べ多数を占めていると思われる。

## 11 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の実現を目指して、男女共同参画基本計画を策定し、職場や地域、家庭における意識改革と参画の仕組みづくりを促進します。

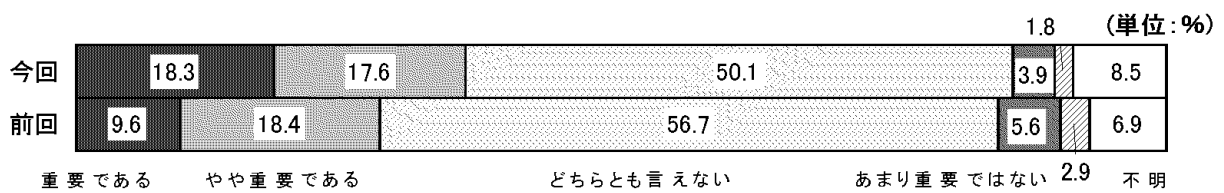
### (1) 満足度・重要度調査結果

#### ① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 33 / 36位)

#### ② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 24 / 36位) 重要ではない

### (2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
男女共同参画社会の推進 (改善点)	女性が働く職場に託児所などがあると女性も社会に出やすいと思う。 女性がより働き易い職場環境を企業で作っていくべき。 まだまだ共同参画がみられない、もう少し頑張っ欲しい。
男女共同参画社会の推進 (否定的)	男女平等で、女性を優遇するのは間違っている。 常に女性と男性とで差別した目で見ないで欲しい。 男女の特性を生かした施策が大切。
男女共同参画社会の推進 (肯定的)	男女共同参加社会は重要。 社会全体に広く目を向けるには、委員等の女性登用促進は是非必要。

### (3) 所見

満足度・重要度ともに、前回調査との比較では、ポイントは上昇しているものの低い上昇率に留まっている。今回調査の他の項目との比較において満足度・重要度ともに低い水準にとどまっている。

このように、満足度、重要度ともに低い水準にとどまっているのは、男女共同参画に関する施策の認識が低いことや、「女性が働きやすい職場環境を企業で作っていくべき」といった行政の取組みでは成果が出せない。むしろ企業が環境づくりに取組むべきもので、行政の取組みには限界があると感じていることが要因になっているものと思われる。